

法人（事業所）理念	共に支え 共に生きる						
支援方針	お一人お一人の個性や発達に合わせ、集中力や体力が維持・向上するようなプログラムを設定しています。「自分でできること」「他人とコミュニケーションをとること」「よろこび」「たのしみ」がゆつくりと増えていくことを目標に支援していきます。今が未来につながるように…。						
営業時間	9 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
健康・生活	・来所時の検温や連絡ノートなどから健康状態の把握を行います。 ・小さなサインを見逃さないようにし、心身の異変の早期発見に努めます。 ・手洗いやうがいの仕方を絵カードなどで提示し、正しい方法を身に付け感染予防を図るとともに習慣化できるように支援します。 ・登降時の身辺処理（靴の用意や着脱、荷物の整理、提出物の管理など）を5本院に合わせた方法で実施し、習慣化できるように支援します。 ・適切なタイミングでトイレ誘導を行います。 ・一人の流れをスケジュールで提示し、見通しをもって行動できるように支援します。 ・スケジュールはご本人の理解できる形態で準備します。 ・イベントの説明などは視覚支援を用いるなどご本人の分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことが出来るよう支援します。 ・生活の中での課題をご家族から聞き取りたりご本人の行動などから抽出し、個別支援として取り組みます。 ・医療的ケアが必要な場合は保護者および主治医と連携し、看護師が必要な対応を行います。 ・ご本人自身が通所することに対して目的意識が持てるよう支援します。 ・放課後の居場所となり、心身のパワーが充満できるよう配慮することで健康に過ごせるようサポートしていきます。 ・主体性を引き出しながら能動的にアクションを起こせるタイミングを尊重した見守りと必要に応じた環境支援を取り入れます。 ・身辺自立や作業等、ご本人に合わせた課題に取り組み、習慣化できるように支援します。						
	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。 ・正しい姿勢で椅子に座ったり身体を動かしたり出来るように支援します。 ・全身運動を通して「自ら」「楽しく」「達成感」を得られる機会を提供し、感覚が統合されるような経験が出来るよう支援します。 ・変形や拘縮を助長しないようストレッチを行ったり、適正な姿勢やポジショニングがとれるように支援します。 ・運動を通して静と動のメリハリをつけることで集中力が高まるような支援を行います。 ・遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、保有する感覚を十分に活用できるよう支援します。 ・人とのコミュニケーションも含めた五感を刺激する活動を取り入れ、充実感や安心感が得られるような経験が出来るよう支援します。 ・手指の緻巧性を高めるような課題を提供します。 ・朝の会での体操や集団活動でのダンスなどで全身運動を行なう機会を作り、身体機能の維持向上を図るとともに心身のリラクセスが図れるよう支援します。 ・創作活動を通じて道具を使ったり、手先を動かす機会を増やします。						
	・スケジュールに沿った活動を行なうことで時間を意識して行動できるように支援します。 ・色や数字、物など様々な概念の獲得に向け、ご本人の特性や能力を観察し、見合った課題の提供を行います。 ・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことでこだわりや回避感を軽減できるように支援します。 ・ご本人が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごせるよう支援します。 ・毎日のレクリエーションや行事を通して季節を感じたり興味の幅を広げたり出来るよう支援します。 ・ご本人の興味関心に沿って課題やレクリエーションの提案を行い、集中して取り組めるように支援します。 ・毎日の読み聞かせを通して、情緒を育んだり集中力や想像力が養えるよう支援します。 ・創作活動でいろいろな素材に触れる機会を作り、色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養えるよう支援します。 ・試行錯誤する過程を経験できるよう配慮し、自分で気づき主体的に取り組むことが出来るよう支援します。						
	・ご本人の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 ・正しい物の名前や言葉使いなどが習得できるような課題を提供します。 ・遊びや様々な活動を通して他者とのやりとりの場面を設け、多くの言葉に触れる機会を作ります。 ・インテリアルアプローチを基本とし、楽しくコミュニケーションの経験を積むことが出来るように支援します。 ・絵カードやサインなどを用いて言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・SSTを取り入れ感情の表出の仕方や相手の気持ちを理解する力が身につくよう支援します。 ・子供だけでなく関わる機会を増やしスムーズにやりとりが出来るよう職員が間に入り橋渡しや援助・支援をします。 ・表情や仕草、全身の動きなどから職員がご本人の訴えを読み取り呼応することで、「伝わった」という実感が積み重ねられるよう支援していきます。 ・自分の思いが伝わる経験が増えることで「話したい」「伝えたい」というコミュニケーション意欲が高まるよう支援していきます。						
本人支援	・到着時や帰りの際に職員や他の利用児に挨拶する習慣が身に付くよう支援します。 ・遊びや集団活動等を通して様々な人と関わる機会が増えるよう支援します。 ・音楽療法を通し、集団化、一体化、社会性、協調性の向上を図っていきます。 ・創作活動を通じて「やり遂げた」という達成感を感じれるよう支援します。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることが学べるよう支援します。 ・ルールの説明では絵カードや交代カード等を提示してご本人に分かりやすく説明します。 ・職員がお手本を示しながら、他のお子さんとトラブル無くやりとりが出来るように支援します。 ・他者との適正な距離感を把握出来るように適宜声掛けを行い、良好な関係形成を支援します。 ・ご本人ができることでお手伝いをしてもらい、人の役に立てる経験を積み重ねることで自己肯定感が向上するよう支援します。 ・集団活動などでお互いに手伝ったり助け合ったりし協調した関わりが持てるように支援します。 ・思いに寄り添った言葉かけに努め、自己理解してもらえる満足感が得られるよう支援します。 ・自分の思いを自由に表出し、のびのびと自分らしく過ごせるような時間や環境を提供します。						
言語コミュニケーション	・連絡帳、送迎時の会話などで随時情報共有を行なっています。 ・必要に応じて面談や参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。 ・家族の休息やリフレッシュの機会を確保出来るよう支援します。 ・困り事や気づきをいつでも話せるような環境作りを行います。 ・苦情受付箱を設置し、意見や苦情を言いやすい環境を作っています。 ・苦情に対して早急に対応出来るよう委員会を設置しています。						
人間関係社会性	・地域イベントへの参加や福祉活動への参加を通し、地域との交流の機会を提供・支援しています。 ・関係する児童発達支援事業所や放課後等デイサービス、相談支援事業所に様子を報告するなどし、密な連携を図っています。 ・各種地域連携支援会議への参加を行なっています。 ・学校からの相談や共有があれば療育的視点での提案や助言を行います。 ・地域のお店での買い物学習、こども食堂の利用などを取り入れています。						
家族支援	・移行支援				・学校などとの情報共有を行なっています ・関係機関との連携を密に行い、進級や就業に向け必要な情報を共有していきながらご本人・家族が安心して新たな環境に進めるように支援していきます。 ・移行支援会議、担当者会議へ積極的に参加します。 ・新入社員研修を実施しています ・全員参加の年間計画に沿った研修を実施しています（障害理解、法令遵守、マナー・接遇、虐待防止、感染予防、身体拘束、ハラスメント、防災訓練、危機管理、ケース検討会等） ・定期的な委員会の開催（感染防止、虐待防止、身体拘束適正化、事故防止） ・専門性を高めるため発達特性と支援の手立てについて常に学び向上できるように努めています		
地域支援・地域連携	・職員の質の向上				・毎月職員会議を実施し、支援の中での気づきや変化を職員間で共有し積極的な事例検討会を実施しています。 ・外部研修会への積極的な参加と伝達講習を行なっています ・新入社員研修を実施しています ・全員参加の年間計画に沿った研修を実施しています（障害理解、法令遵守、マナー・接遇、虐待防止、感染予防、身体拘束、ハラスメント、防災訓練、危機管理、ケース検討会等） ・定期的な委員会の開催（感染防止、虐待防止、身体拘束適正化、事故防止） ・専門性を高めるため発達特性と支援の手立てについて常に学び向上できるように努めています		
主な行事等	・毎日日替わりのレクリエーション ・学校休業日、長期休暇中などの戸外活動やおやつ作りなどのクッキング ・季節や社会イベントなどに合わせ、文化に触れられるような行事の実施（野菜づくり、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、餅つき、初詣、節分等）						